デバッガ付き1,000円ARMマイコン基板

STM32ディスカバリ活用

屋内30 m/屋外100 mをXBeeでワイヤレスI/O

島田 義人

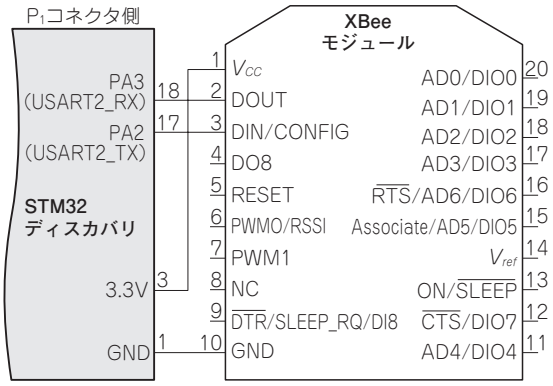
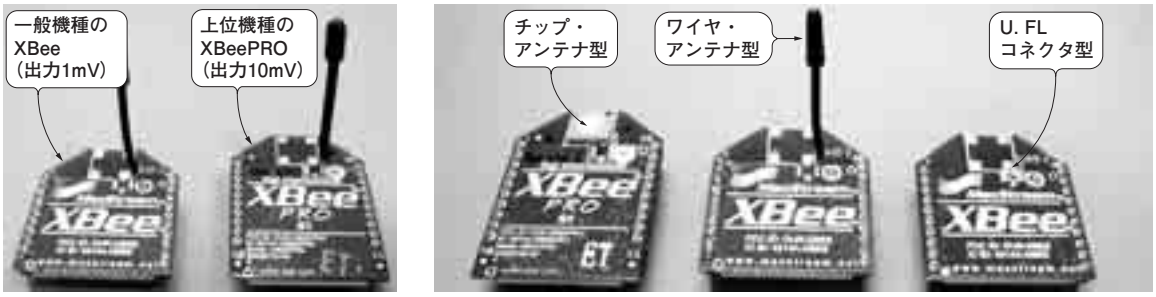


図1　STM32ディスカバリとXBeeモジュールの接続

今回は，1,000円で入手できるARM Cortex-M3マイコンのスタータ・キットであるSTM32ディスカバリと手軽に入手できる無線モジュールXBeeを使った，遠隔制御実験を紹介します．

XBeeモジュールとSTM32ディスカバリは，**図1**に示すように，電源(+3.3 V)と2本の信号線をつなぎます．USART2ポート(USART2_RX，USART2_TX)を使用します．



(a) 機種によって送信出力が異なる　　(b) アンテナの型式が異なる

写真1　XBeeモジュールの外観

● **オススメ1…3大開発環境を収録した入門本**

編集部では，ARMマイコン基板(1000円) STM32 Value line discovery(STM32ディスカバリ)の入門本を企画しました．周辺部品を追加できる学習用の拡張基板なども紹介しています．

書名：「世界の定番ARMマイコン 超入門キット STM32ディスカバリ」
概要：B5判，176ページ
付属物：DVD-ROM(3大開発環境無償評価版＆記事関連プログラムほか
定価：2,520円(税込み)

● **オススメ2…数量限定！ホントにすぐに始めたい人向けの完全版**

キット名：「完全版 世界の定番ARMマイコン 超入門キット STM32ディスカバリ」

★完全版で追加されるもの
- STM32ディスカバリ
- USBケーブル
- 記事で使う実験部品(マルチカラー3色LEDほか)

価格：4,200円(税込み)
協力：STマイクロエレクトロニクス，共立電子産業

◆STM32ディスカバリ記事サポート・サイト◆
「STM32ディスカバリの部屋」 http://toragi.cqpub.co.jp/tabid/530/Default.aspx